



1年間、昭和小学校の各学年の児童と定期的交流してきました。おひさまで顔見知りになっていたり、友達のお兄さんやお姉さんだったりするので、多くの幼児が昇降口から出てくる小学生の名前を呼んで関わろうとしています。交流を経験して小学生の優しさに触れた幼児は、困ったときには頼ろうしたり、学習や発表の姿を見て姿勢や態度を学んだりしています。渡り廊下ができて雨の日も自由に行き来できるようになっています。校内に「交流ルーム」ができ、園児が遊んだり調べたいことができたときには小学生と一緒に ICT を使用したりすることもできるようになります。

【小学生との交流 2月】



【6年生との交流】6年生の背の高さにびっくり。じゃんけんをしてつながっていくゲームでは「ここを持って」と離れないように気遣ったり、人数集めのゲームでは幼稚園児が残らないように声を掛けたりしてくれました。優しさに触れて、いつまでも手を振って見送りました。

【1・2年生の英語劇を見に】1・2年生が「英語で劇をするから見に来て」と招待してくれました。大きな声でせりふを言い、演じる姿に見入る子どもたち。「大きな声でかっこよかった」「声がそろっていた」と感想を言うことができました。

【国際理解教育 R6 から英語特区】



エイデン先生は、毎回一人一人の子どもに名前、天気、今日の気持ちを尋ねて、答える経験を大切にしています。今日は「野菜の名前を覚えよう」です。給食で食べているので野菜が身近になりました。全員では言えますが、一人では恥ずかしい気持ちが強いようです。来年からは英語特区となり、ALTの先生がもっとたくさん一緒に遊んでくれます。英語に触れ、自信をもって発表する力を育てたいです。

きりとりせん

読まれた感想・ご意見などありましたら教えてください。園長だより9 ()組 園児名 ()